



第7号様式 (規程別表第1 第2項第2号ニ関係)

出張報告書

2026 年 8 月 6 日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 無所属
代表者氏名 やはた オカン
出張者氏名 やはた オカン

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 2026 年 8 月 3 日から 2026 年 8 月 3 日まで

2 結果の概要

用務先 新宿区西新宿 [Redacted]	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1 決算審査の実践ポイント 2 3 4 5
添付書類 ☒ 出張報告書 ☐ ☐ ☐	備 考

3 届出事項の変更等 ☒ なし ☐ あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

☒ 精算額は、2026 年 7 月 24 日届け出た額 (30,240 円) と同一額である。

☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

月	日	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

出張報告書

尼崎市議会議員 やまにオカン

日時：令和 8 年（2006 年） 8 月 3 日(月)

会場：リファレンス西新宿大京ビル 2 階

講師：地方議員研修会 黒瀬 雄大 氏

（元交野市職員・元交野市議会議員・コンサルタント、データサイエンティスト）

ト)

【概要】

決算審査の実践ポイント

- ・決算のどこを見るか
議員のための決算審査入門
- ・意味のない質疑からの卒業を
決算審査の質問力と指摘力

1. 決算審査で最初に押さえるべき全体の見方

自治体の大小や事情は様々ですが、財政に優秀な職員を配置するのはどこの自治体でも同じです。なぜ首長は、財政を重視するのか。

首長は絶大な権力を持っていると思われがちですが、たった一人で大勢の職員を束ねなければなりません。

- ・首長に専属して使える権力は、つきつめるとたった 2 つ

「予算編成・執行権」と「人事権」

↳決定権はない

「条例制定権」「予算制定権」は議会に帰属し、議会の YES がないと、実は何もできないのが首長という立場です。

・どの自治体でも「企画」「人事」「財政」の3つのポストが重要
本庁の市長室の近くに配置されていることが多いこれらのポストがなぜ重要かという
と、市長の専権事項であるからです。これらの課長ポストは、自治体内での出世コースです。

市長があるのは、予算編成権で予算制定権は議員(議会)にあります。
予算を決めることができるのはあくまでも議会であるのだから
議員が、予算を理解できるように説明する説明責任は職員側にあります。

※議員に必要なのは、細かい制度の理解ではなく、おかしいときに指摘できること

議員は、例えば「債務負担行為」「継続費」「繰越明許費」の3つの違いを説明できる必要はありません。

しかし、財政担当が「黒字」と言っているのは普通の感覚での「黒字」なのかそうでないのかは分からなければなりません。

黒字なのに借金が増え続けていたら、おかしいと指摘できなければなりません。

・財政がわかりにくい理由

地方自治法96条では予算の議決・決算の認定が議決事項となっていますが、予算書・決算書は議員からみてわかりにくい構成となっています。

予算書、決算書の構成が性質別

- ・多くの自治体では予算書、決算書は通常「性質別」の予算・決算書を採用している
- ・事業ごとにいくらかかるのかわからない

財政で使う自治体会計の用語が独特

- ・款項目節、歳入歳出、債務負担行為、出納整理など企業会計に出てこない用語が多い

自治体会計の考え方が独特

- ・発生主義、複式簿記の企業会計と異なり、現金主義、単式簿記の考え方
- ・自治体職員は普通の企業会計を知らず、民間から議員になった人は自治体会計を知らない。両方を理解している人間は自治体内部でも非常に少ない。

・現金主義の落とし穴：実質収支

官庁会計(公会計)と、企業会計(日商簿記などで扱う会計)の最も大きな違いは、現金主義(官公会計)と、発生主義(企業会計)です。

【例えば】

昨年度からの繰越金が 20 万円あります。今年は、収入が 40 万円で支出が 50 万円でした。今年の黒字はいくらですか？

<u>官庁会計</u>		<u>企業会計</u>	
収入		収入	
	繰越金 20 万円		40 万円
	40 万円		
支出	50 万円	支出	50 万円
実質収支	+10 万円	純利益	-10 万円

現金主義では、「今年の収支はいくらなのか」がわからない。

市の説明「今年も黒字です」だけでは、今年の収支の実態はわからない。



・現金主義の落とし穴：市債と基金

【例えば】

今年は、収入が 40 万円で支出が 50 万円でした。
また、借金を 20 万円しました。
今年の黒字はいくらですか？

今年は、収入が 40 万円で支出が 50 万円でした。
また、基金を 20 万円取り崩しました。
今年の黒字はいくらですか？

官庁会計

収入	
	借金が収入になる
市債	20 万円 → 40 万円
支出	50 万円
実質収支	+10 万円

官庁会計

収入	
基金取崩	20 万円 40 万円
支出	50 万円
純利益	+10 万円

・官庁会計では、借金は収入になり、返すと支出になる。

・基金を取り崩すと収入になり、積立てると支出になる。

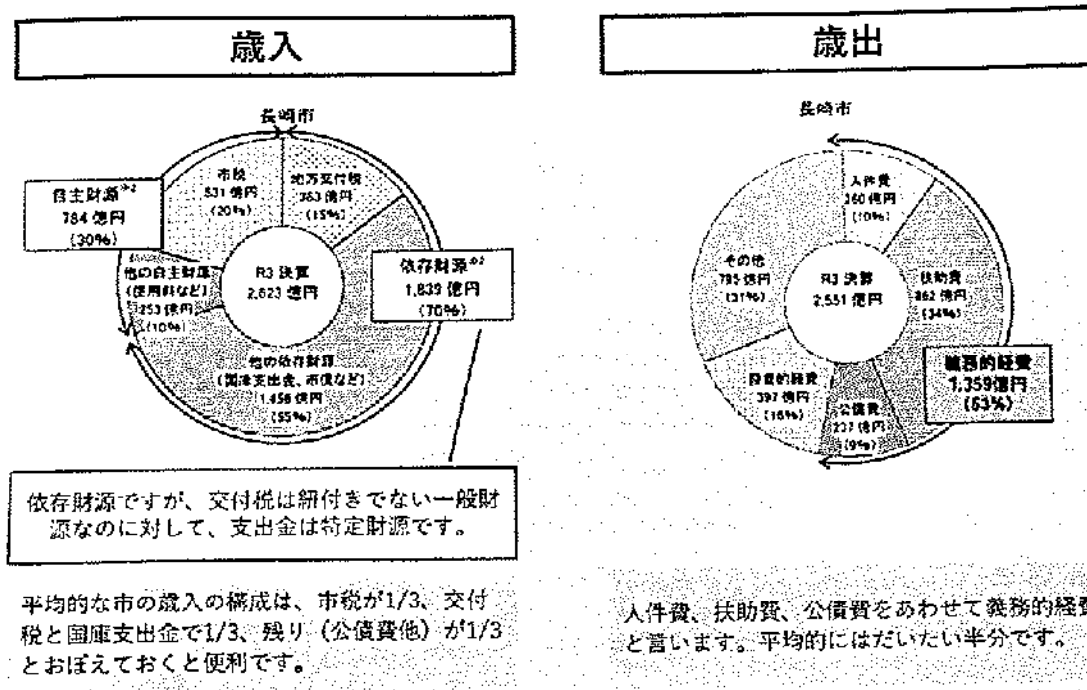
自治体の「黒字」「赤字」は何種類もある

用語	説明
形式収支の黒字・赤字(形式収支)	歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いたものです。 形式収支の黒字・赤字だけで、単純に財政状況を判断することはありません。実質収支や単年度収支を算出する基になります。
繰り越すべき財源	形式収支から次の年に使うことが決定しているお金(翌年度に繰り越すべき財源)を差し引いたものです。 「実質収支=歳入総額-歳出総額-翌年度に繰り越すべき財源」です。
単年度収支	単年度収支は、実質収支から前の年の実質収支を差し引いたものです。 前年度の単年度収支が黒字で、引き続き当該年度も黒字の場合=黒字増大 前年度の単年度収支が赤字で、当該年度は黒字の場合=過去の赤字解消
実質単年度収支	実質単年度収支は、単年度収支に黒字要素となる基金(貯金)積み立て額等を加え、赤字要素である基金(貯金)引き出し額を差し引いたものです。 単年度収支は黒字でも、実質単年度収支が赤字なら、それは貯蓄の取り崩しなどにより資金をやりくりしていることになります。

2. 歳入歳出の流れから自治体財政を読み解く

歳入と歳出の構成

官庁会計では、収入と支出のことを、歳入と歳出と呼んでいます。4月始まり3月決算で、単年度主義、現金主義、単式簿記という特徴があります。



・足りないお金は国から貰える：地方交付税と国庫支出金

地方の税収入が、歳入全体の 1/3 しかないことがわかりました。足りない部分は、国から補填する「地方交付税」という仕組みがあります。

国庫支出金は、地方公共団体が行う特定の事務事業に対して国から交付される給付金のことです。

【例えば】

事業 1		生活保護制度の実施		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
要	要	生活保護制度を適切に運用し、生活保護受給者に対し、最低限度の生活を保障するとともに、自立に向けた支援を実施		1 世帯数	640世帯	633世帯	612世帯
				2 保護率(%)	10.72%	10.59%	10.93%
位置付け	国府補助	生活保護費(国庫負担金)		予算・決算額(歳出)	1,401,506千円	1,396,270千円	1,373,133千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,075,370千円	1,038,888千円

※例えば生活保護費は、国庫負担が 3/4 と法律で決まっている。自治体負担は 1/4 のため、見た目ほど負担なし

全額が交付される事業もあります。このような事業は「全額補助事業」という。

事業 6		コミュニティソーシャルワーク活動		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
地域生活課	概要	様々な地域生活課題を抱える要援護者の早期発見および支援		1	相談件数	延べ1,700件	延べ1,650件	延べ1,601件
				2				
	国府補助	地域福祉交付金		予算・決算額(歳出)	5,722千円	5,833千円	5,510千円	
	位置付け	選択	実施形態	委託	うち国府負担額	5,722千円	5,833千円	5,510千円

・財政の力強さを示す数字

自分の市の様々な財政の数字のうち、抑えておかなければならないポイント

尼崎市決算カード (右下)

区 分		令和 6 年度(千円)		令和 5 年度(千円)	
基準財政収入額		70,648,026		68,907,403	
基準財政需要額		88,733,508		85,365,022	
標準税収入額等		90,419,158		88,121,225	
標準財政規模		109,613,015		107,016,234	
財政力指数		0.81		0.81	
実質収支比率(%)		2.6		2.2	
公債費負担比率(%)		15.0		15.6	
判断 断全 比率 率化	実質赤字比率(%)	-		-	
	連結実質赤字比率(%)	-		-	
	実質公債費比率(%)	8.0		8.1	
	将来負担比率(%)	-		2.8	
積立 現在 金高	財政調	13,654,666		13,143,785	
	減債的	16,537,209		15,468,910	
	特定目的	26,248,051		23,706,611	
地方債現在高		163,323,950		177,249,397	
債務負担行為額 (支出予定額)	物件等購入	90,161,832		12,865,293	
	保証・補償 その他	12,137,387		11,925,515	
	実質的なもの	-		-	
収益事業収入		2,995,144		4,212,571	
土地開発基金現在高		-		-	
徴収率 現年・計 (%)	合計	99.4	98.2	99.3	98.0
	市町村民税	99.1	97.1	98.9	96.8
	純固定資産税	99.7	99.0	99.6	98.7

→自治体の線ぐ
力を示す

→積立金は貯金で
地方債は借金

尼崎市

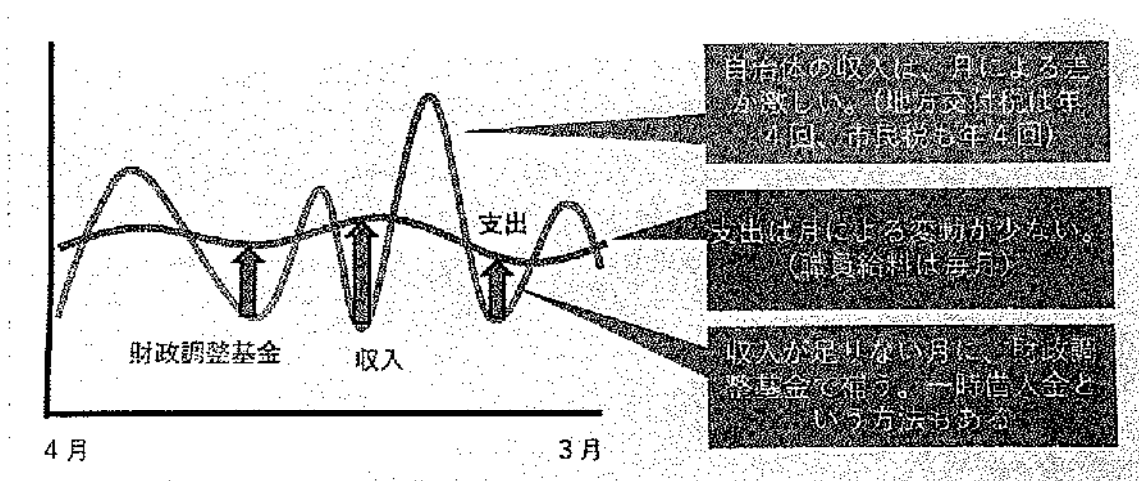
経常経費充当一般財源等計	110,846,711 千円
経常収支比率	96.1 % (96.1 %)
	(減収補填債 (特例分) 及び臨時財政対策債除く)
歳入一般財源等	141,441,953 千円

経常収支比率は、財政の硬直度高さを表す。高いほど悪い。

昔は 70% を超えると黄色信号と言われていたが、最近は 90% を超えていることも多い。100% を超えると、投資的なことはできない。

・財政調整基金の役割

季節変動が大きい自治体の収入と、一定している支出のバランスをとる機能があります。また、不足の事態に備える機能もあります。

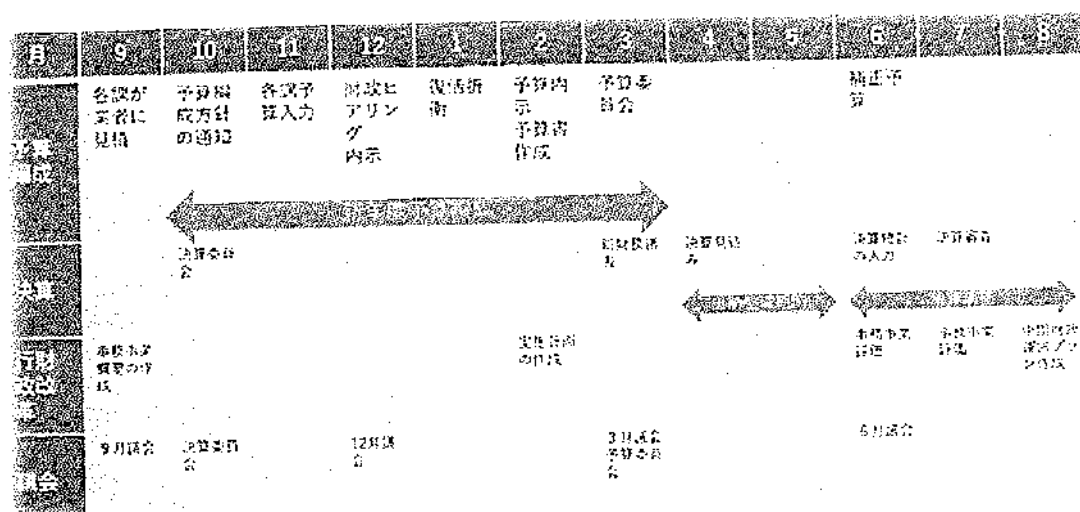


一般的に、財政調整基金は標準財政規模の 10% 程度が適正と言われている。現在は、市町村全体で 6.4 兆円、都道府県で 2.5 兆円の残高があり、「積み立てすぎ」が総務省で問題になっている。

3. 財政そのものの理解がなくては何も指摘できない

・財政の1年

予算編成のサイクルを知ることは大事です。いつ、どこで何が行われているを知ることで、職員に適切な時期に働きかけることができます。



※一般的な市では、毎年10月ごろまでに財政課長が「予算編成の基本方針」（市によって名前が違う）を起案し、市長名で各課に通知しています。



今回の研修会参加の目的は、市民の代表として、わがまちの財政を知り、必要な財政の知識を身に着けるということです。

近年財政危機に陥った都市から、財政危機を察知するポイント、財政健全化法財政カードの読み取り方など、たくさん学習しましたが、到底一度や二度の参加で理解できる（市民に分かりやすく説明）はずもなく引き続き参加したいと思います。

成果とコストの両面から事業を検証する視点をもつ、決算は事業とセットでないと分からない。事業へのインプット（投入金額）とアウトプット（成果）とを比較して適切か否か判断する。

また一人いくらかを確認し、高いのか安いのか単位あたりの金額を確認する。質問についても議会のサイクルを知ること、今しないといけない質問か、タイミングはあっているかなど、また、理屈が通った質問を行うことなど非常に難しいですが、財政とどう結びつけていこうか、どう市民に分かりやすく説明するのか新しい課題も認識できた素晴らしい研修会でした。